

犬山市介護認定審査会の認定状況

令和3年1月～12月

認定審査件数	2,356人
新規申請	1,016人
内前回認定のない 新規申請	619人
更新申請	1,113人
変更申請	227人

表1 男女別要介護度（新規比較）

区分	男性				区分	女性					
	合計		新規			合計		新規			
	人数	割合	人数	割合		人数	割合	人数	割合		
非該当	21	2.2%	16	5.9%	非該当	14	1.0%	11	3.2%		
軽度	要支援1	204	21.8%	80	29.4%	軽度	要支援1	305	21.5%	127	36.6%
	要支援2	162	17.3%	48	17.6%		要支援2	250	17.6%	75	21.6%
	要介護1	197	21.1%	44	16.2%		要介護1	305	21.5%	58	16.7%
中度	要介護2	112	12.0%	20	7.4%	中度	要介護2	165	11.6%	24	6.9%
	要介護3	74	7.9%	23	8.5%		要介護3	162	11.4%	24	6.9%
重度	要介護4	100	10.7%	25	9.2%	重度	要介護4	140	9.9%	14	4.0%
	要介護5	65	7.0%	16	5.9%		要介護5	80	5.6%	14	4.0%
計	935		272		計	1421		347			

認定審査件数男女比 $1:1.52$ となっている。

《参考》総人口 73,030人（R3.12.31末現在）

65歳以上人口 21,427人

男女比 $1:1.25$ （男9,509人、女11,918人）

図1-2 男女別要介護の割合（非該当除く）

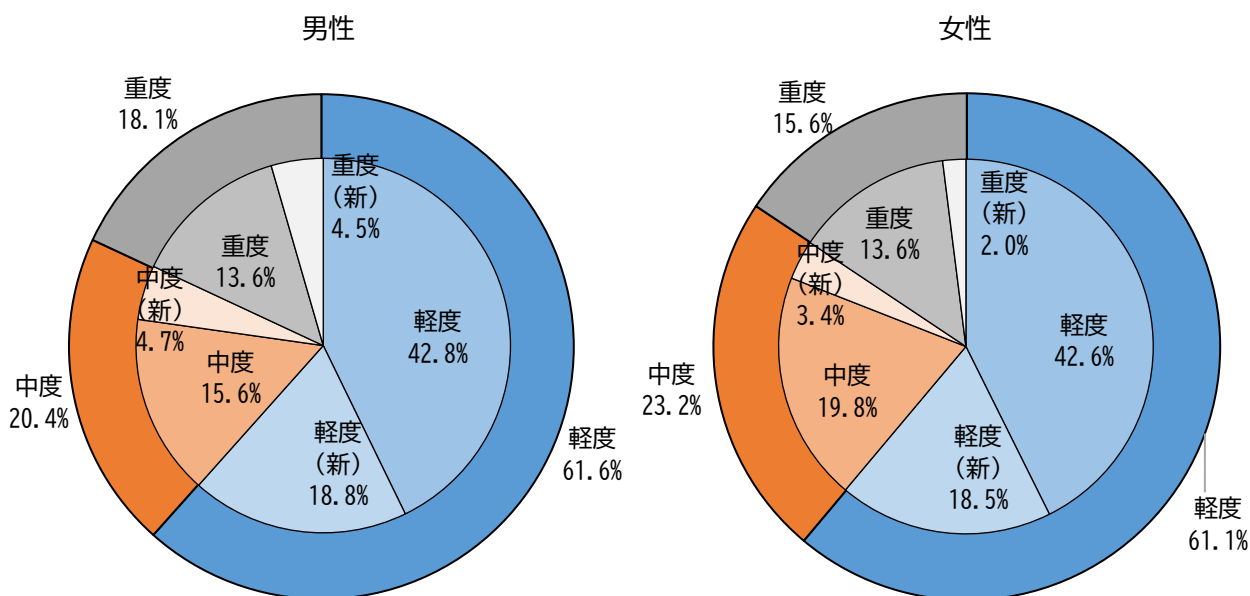


図1-1 男女別要介護度（新規比較）

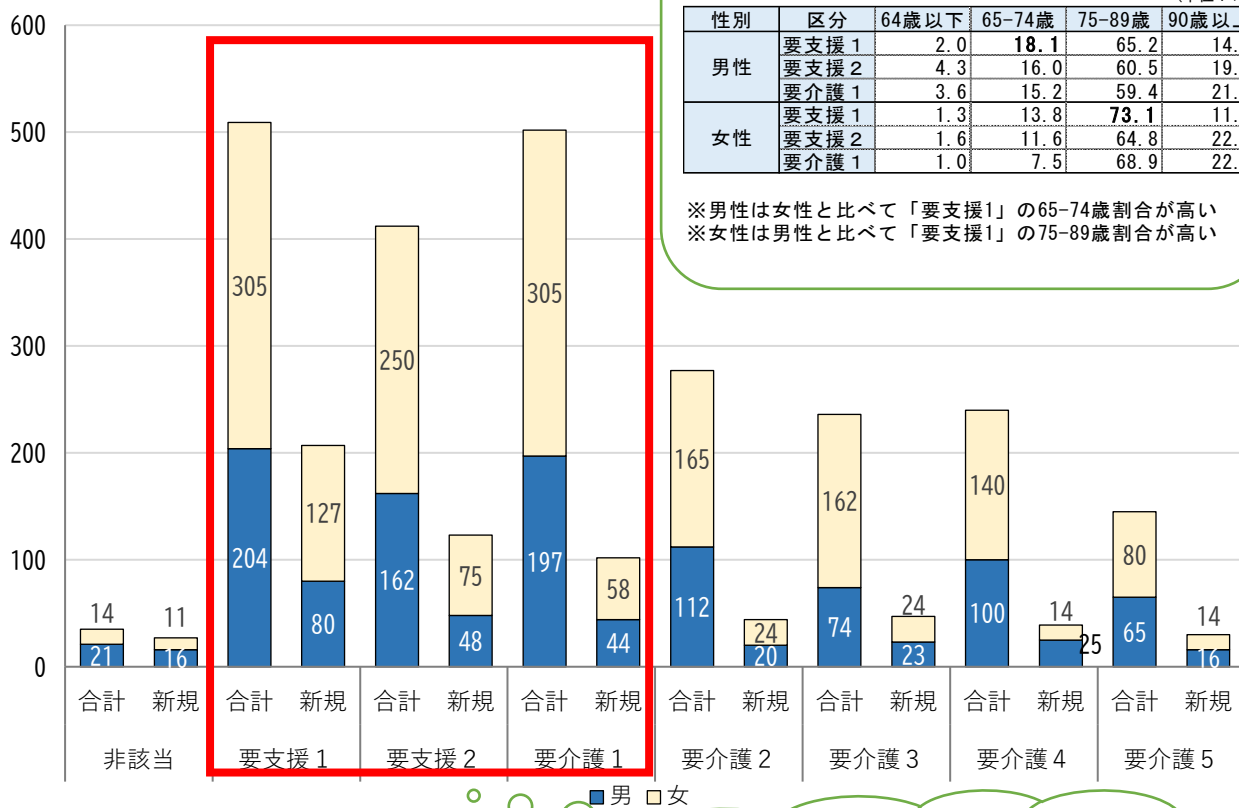


図1-3 要介護度全体

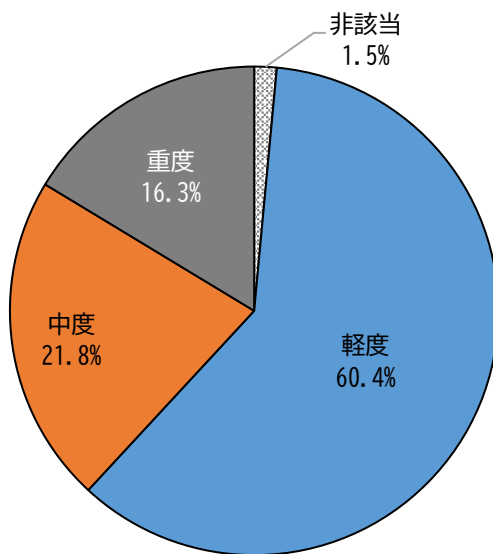


表2 主治医意見書の原因疾病

疾病	合計		新規	
	男性	女性	男性	女性
①脳血管疾患（脳卒中）	200	163	61	40
②心疾患（心臓病）（循環器）	97	189	23	41
③悪性新生物	77	70	39	32
④呼吸器疾患	46	35	17	5
⑤関節疾患	61	171	9	50
⑥認知症	180	332	41	65
⑦パーキンソン病	30	37	4	5
⑧糖尿病	30	41	12	9
⑨視覚・聴覚障害	6	6	0	1
⑩骨折・転倒	78	191	28	56
⑪脊髄損傷	2	2	0	0
⑫高齢による衰弱	3	8	1	3
⑬その他	125	176	37	40
合計	935	1421	272	347

※「国民生活基礎調査介護票」の疾病分類に合わせて分類

表3 主治医意見書の原因疾病 <要支援1>

疾病	合計		新規	
	男性	女性	男性	女性
①脳血管疾患（脳卒中）	35	23	11	12
②心疾患（心臓病）（循環器）	31	48	11	20
③悪性新生物	16	10	10	5
④呼吸器疾患	7	4	4	0
⑤関節疾患	13	66	2	27
⑥認知症	36	47	14	27
⑦パーキンソン病	3	3	1	1
⑧糖尿病	10	14	6	5
⑨視覚・聴覚障害	2	1	0	1
⑩骨折・転倒	16	46	7	15
⑪脊髄損傷	0	0	0	0
⑫高齢による衰弱	1	2	1	1
⑬その他	34	41	13	13
合計	204	305	80	127

図2 主治医意見書の原因疾病

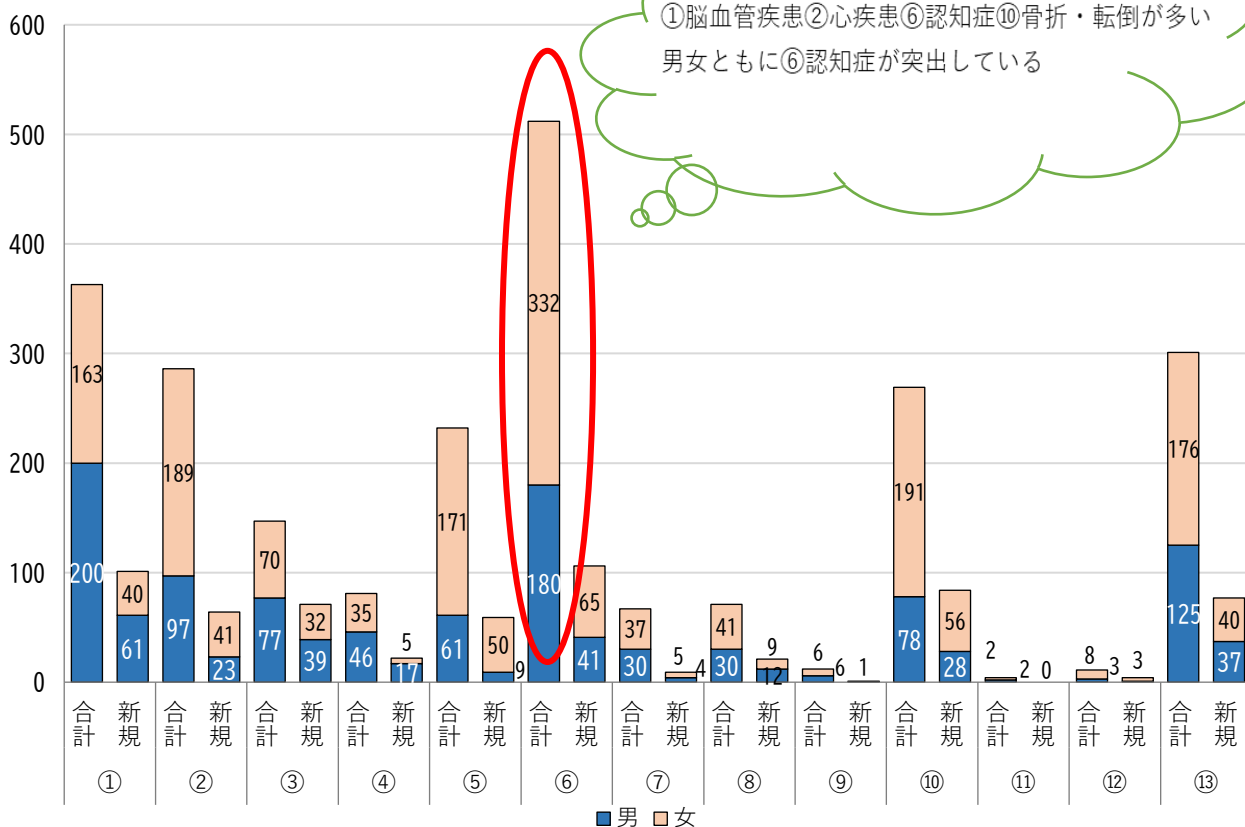


図3 主治医意見書の原因疾病 <要支援1>

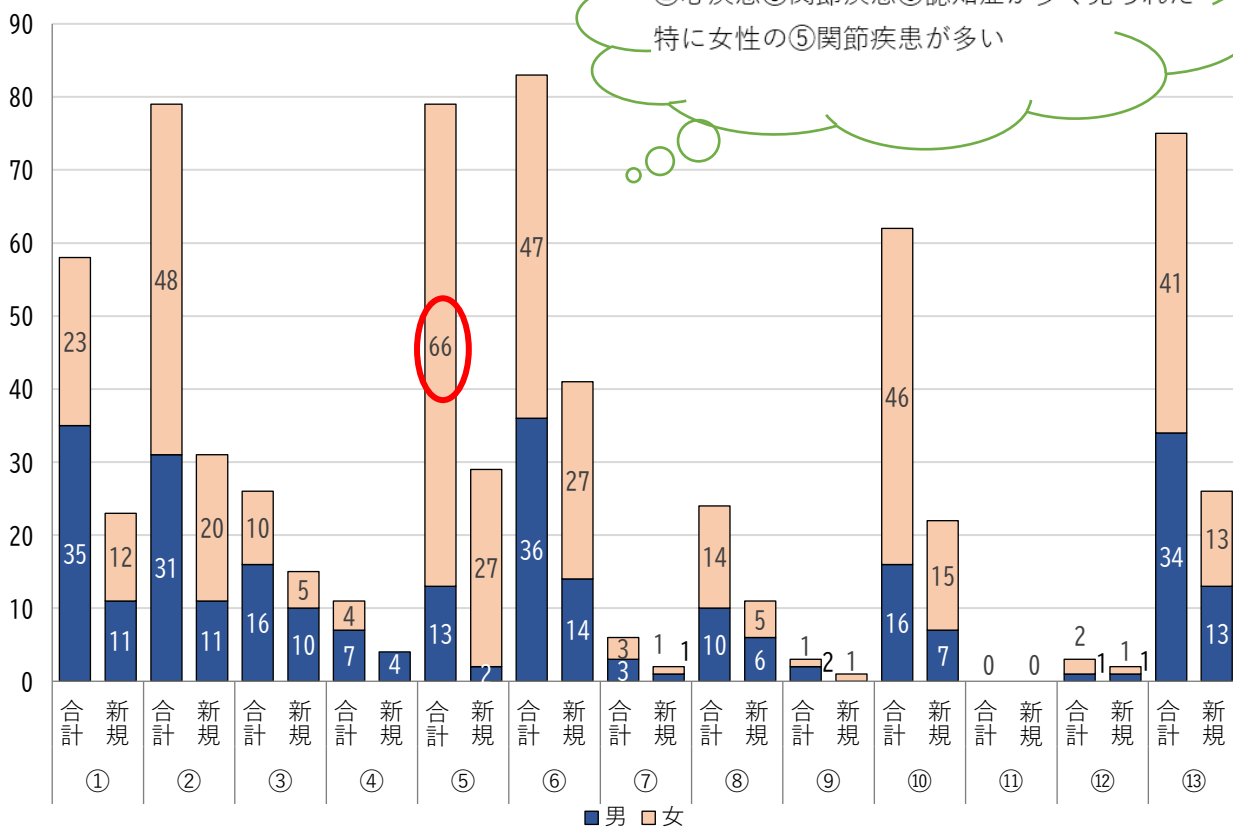


表4 主治医意見書の原因疾病 <要支援2>

疾病	合計		新規	
	男性	女性	男性	女性
①脳血管疾患（脳卒中）	43	25	7	5
②心疾患（心臓病）（循環器）	20	41	2	9
③悪性新生物	10	12	7	7
④呼吸器疾患	10	7	5	1
⑤関節疾患	13	40	2	11
⑥認知症	19	22	7	6
⑦パーキンソン病	4	8	2	2
⑧糖尿病	6	9	2	2
⑨視覚・聴覚障害	2	2	0	0
⑩骨折・転倒	12	47	5	21
⑪脊髄損傷	0	1	0	0
⑫高齢による衰弱	1	1	0	1
⑬その他	22	35	9	10
合計	162	250	48	75

表5 主治医意見書の原因疾病 <要介護1>

疾病	合計		新規	
	男性	女性	男性	女性
①脳血管疾患（脳卒中）	33	23	10	4
②心疾患（心臓病）（循環器）	23	36	6	5
③悪性新生物	20	16	5	9
④呼吸器疾患	5	6	0	1
⑤関節疾患	11	29	2	6
⑥認知症	52	115	11	19
⑦パーキンソン病	10	8	1	0
⑧糖尿病	5	6	0	1
⑨視覚・聴覚障害	2	2	0	0
⑩骨折・転倒	14	27	5	7
⑪脊髄損傷	0	1	0	0
⑫高齢による衰弱	1	2	0	0
⑬その他	21	34	4	6
合計	197	305	44	58

図4 主治医意見書の原因疾病 <要支援2>

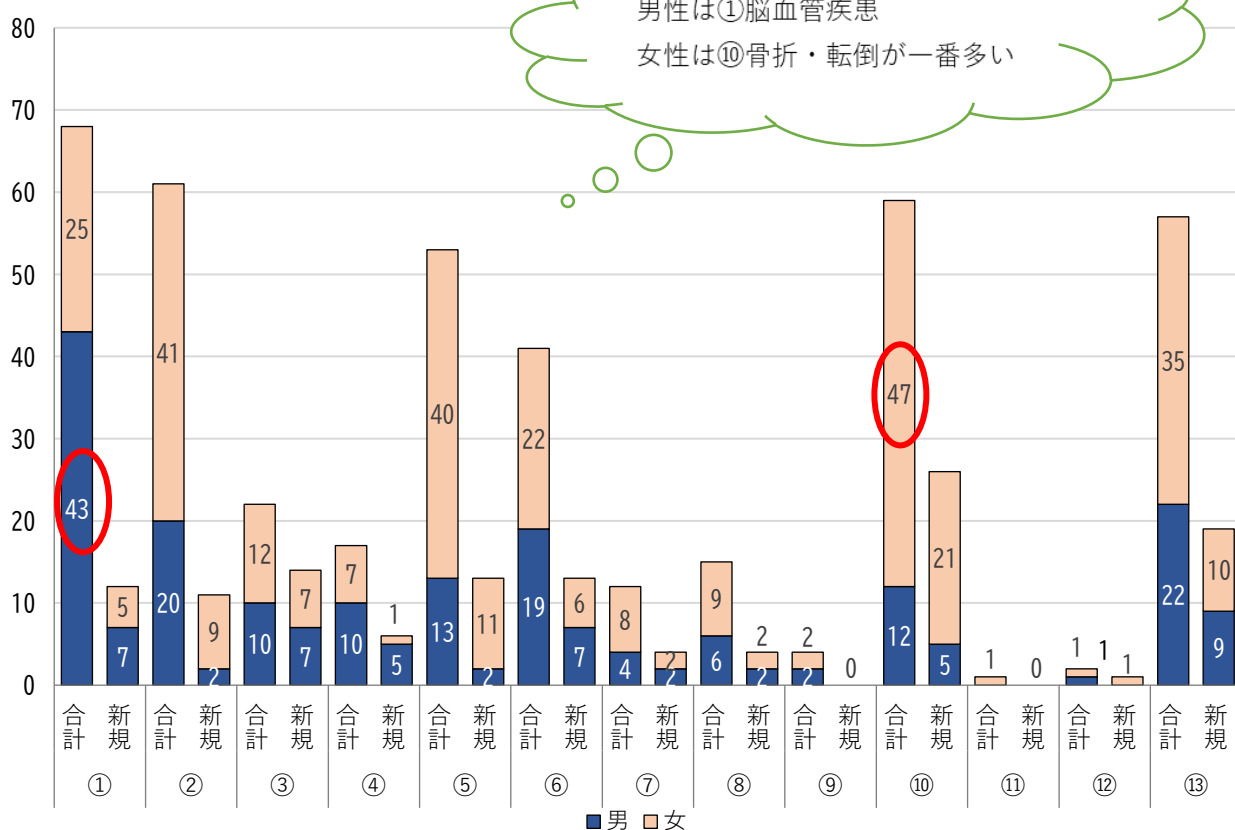


図5 主治医意見書の原因疾病 <要介護1>

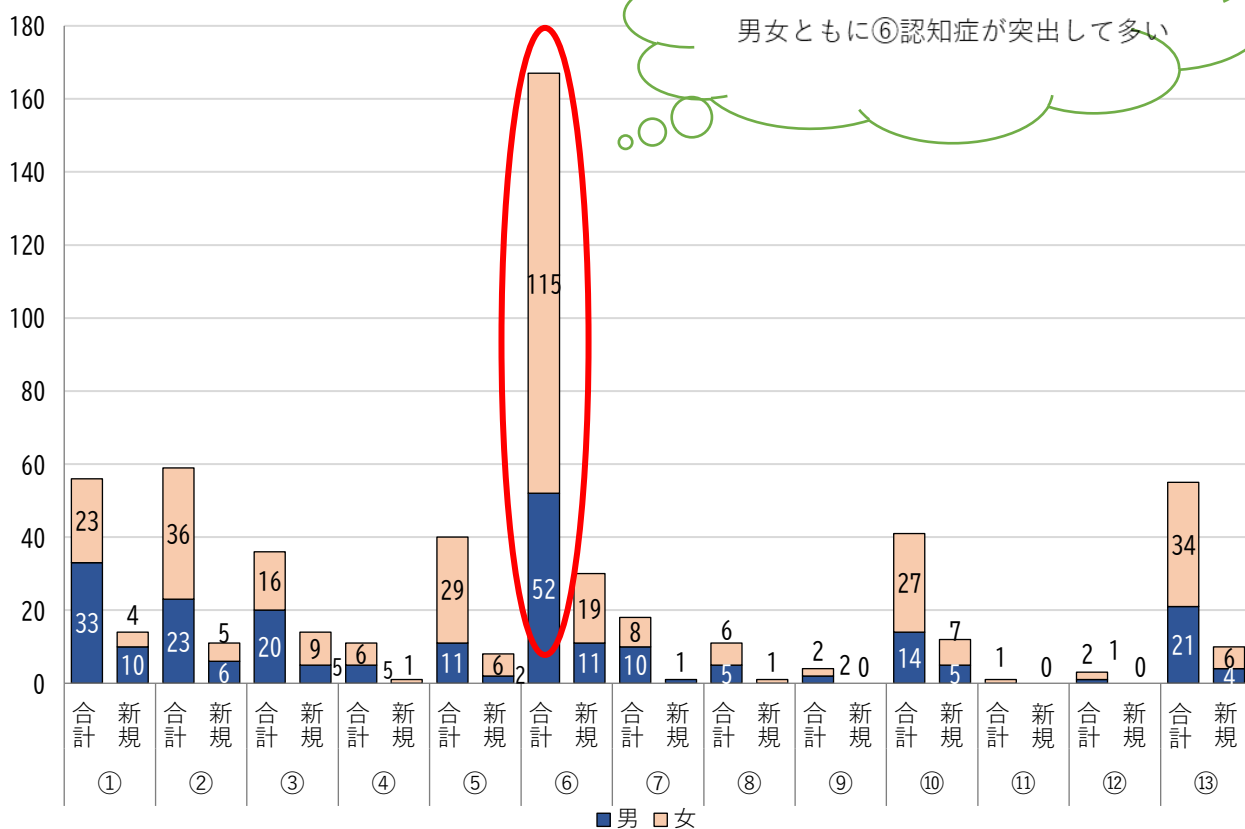


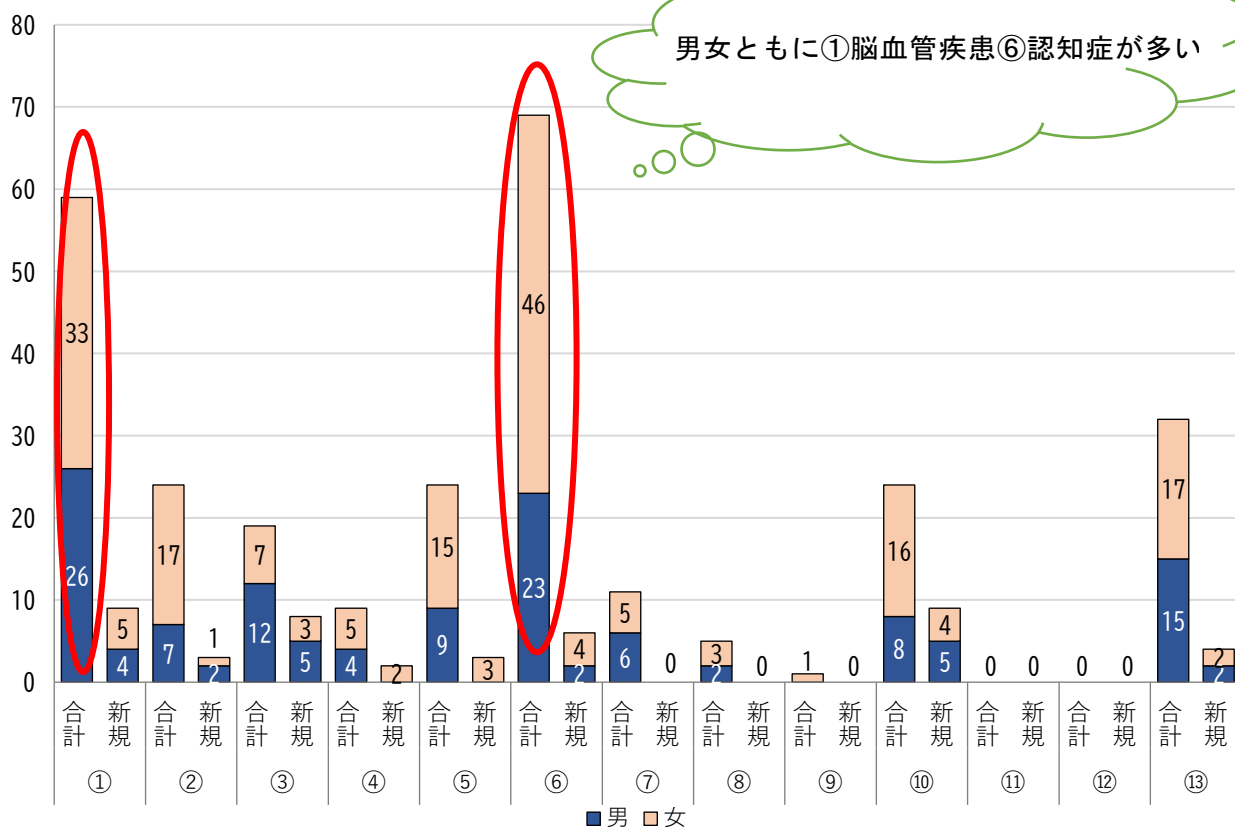
表6 主治医意見書の原因疾病 <要介護2>

疾病	合計		新規	
	男性	女性	男性	女性
①脳血管疾患（脳卒中）	26	33	4	5
②心疾患（心臓病）（循環器）	7	17	2	1
③悪性新生物	12	7	5	3
④呼吸器疾患	4	5	0	2
⑤関節疾患	9	15	0	3
⑥認知症	23	46	2	4
⑦パーキンソン病	6	5	0	0
⑧糖尿病	2	3	0	0
⑨視覚・聴覚障害	0	1	0	0
⑩骨折・転倒	8	16	5	4
⑪脊髄損傷	0	0	0	0
⑫高齢による衰弱	0	0	0	0
⑬その他	15	17	2	2
合計	112	165	20	24

表7 主治医意見書の原因疾病 <要介護3>

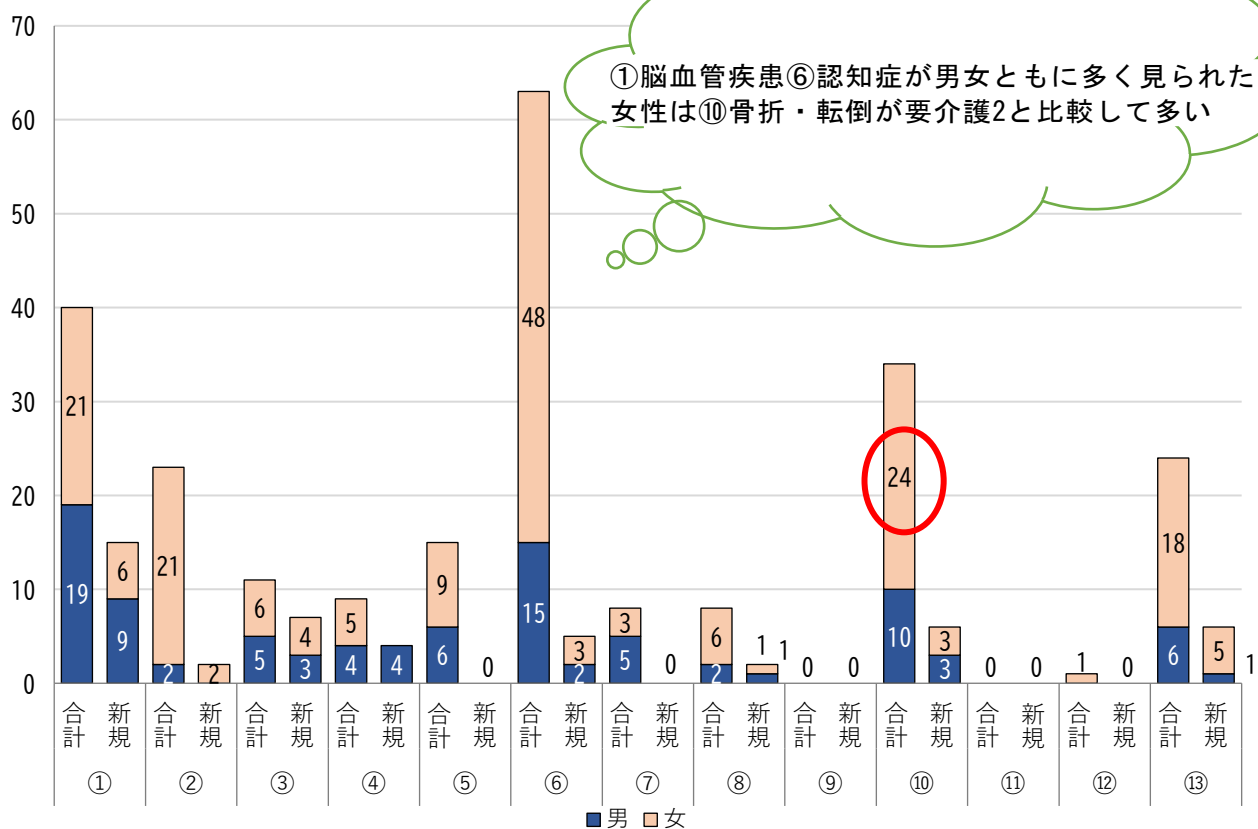
疾病	合計		新規	
	男性	女性	男性	女性
①脳血管疾患（脳卒中）	19	21	9	6
②心疾患（心臓病）（循環器）	2	21	0	2
③悪性新生物	5	6	3	4
④呼吸器疾患	4	5	4	0
⑤関節疾患	6	9	0	0
⑥認知症	15	48	2	3
⑦パーキンソン病	5	3	0	0
⑧糖尿病	2	6	1	1
⑨視覚・聴覚障害	0	0	0	0
⑩骨折・転倒	10	24	3	3
⑪脊髄損傷	0	0	0	0
⑫高齢による衰弱	0	1	0	0
⑬その他	6	18	1	5
合計	74	162	23	24

図6 主治医意見書の原因疾病 <要介護2>



男女ともに①脳血管疾患⑥認知症が多い

図7 主治医意見書の原因疾病 <要介護3>



①脳血管疾患⑥認知症が男女ともに多く見られた
女性は⑩骨折・転倒が要介護2と比較して多い

表8 主治医意見書の原因疾病 <要介護4>

疾病	合計		新規	
	男性	女性	男性	女性
①脳血管疾患（脳卒中）	25	18	10	1
②心疾患（心臓病）（循環器）	8	16	0	1
③悪性新生物	6	12	4	2
④呼吸器疾患	9	7	2	1
⑤関節疾患	5	2	1	0
⑥認知症	19	31	1	1
⑦パーキンソン病	0	7	0	0
⑧糖尿病	3	2	1	0
⑨視覚・聴覚障害	0	0	0	0
⑩骨折・転倒	11	25	2	5
⑪脊髄損傷	1	0	0	0
⑫高齢による衰弱	0	0	0	0
⑬その他	13	20	4	3
合計	100	140	25	14

表9 主治医意見書の原因疾病 <要介護5>

疾病	合計		新規	
	男性	女性	男性	女性
①脳血管疾患（脳卒中）	15	19	6	6
②心疾患（心臓病）（循環器）	3	7	0	0
③悪性新生物	8	7	5	2
④呼吸器疾患	6	0	1	0
⑤関節疾患	0	8	0	1
⑥認知症	12	21	1	4
⑦パーキンソン病	2	2	0	1
⑧糖尿病	1	1	1	0
⑨視覚・聴覚障害	0	0	0	0
⑩骨折・転倒	5	5	0	0
⑪脊髄損傷	1	0	0	0
⑫高齢による衰弱	0	1	0	0
⑬その他	12	9	2	0
合計	65	80	16	14

図8 主治医意見書の原因疾病 <要介護4>

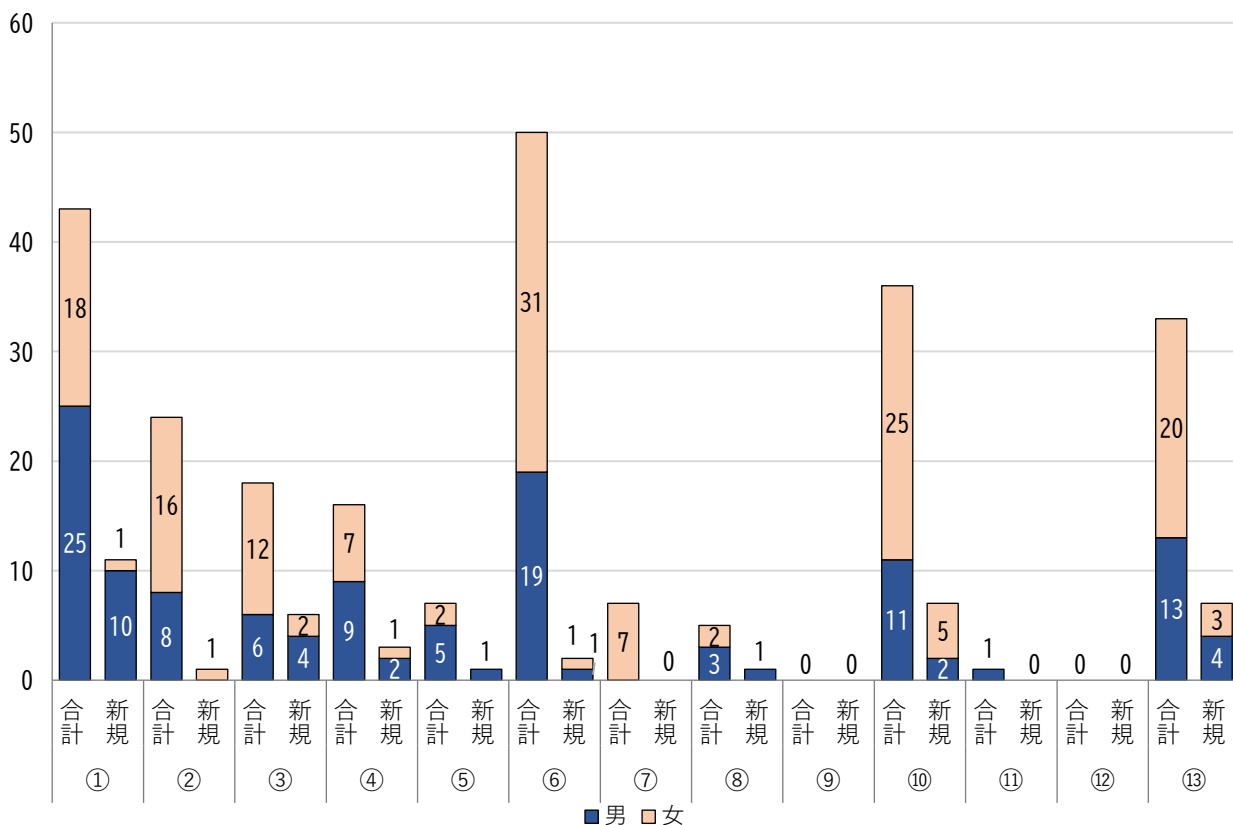


図9 主治医意見書の原因疾病 <要介護5>

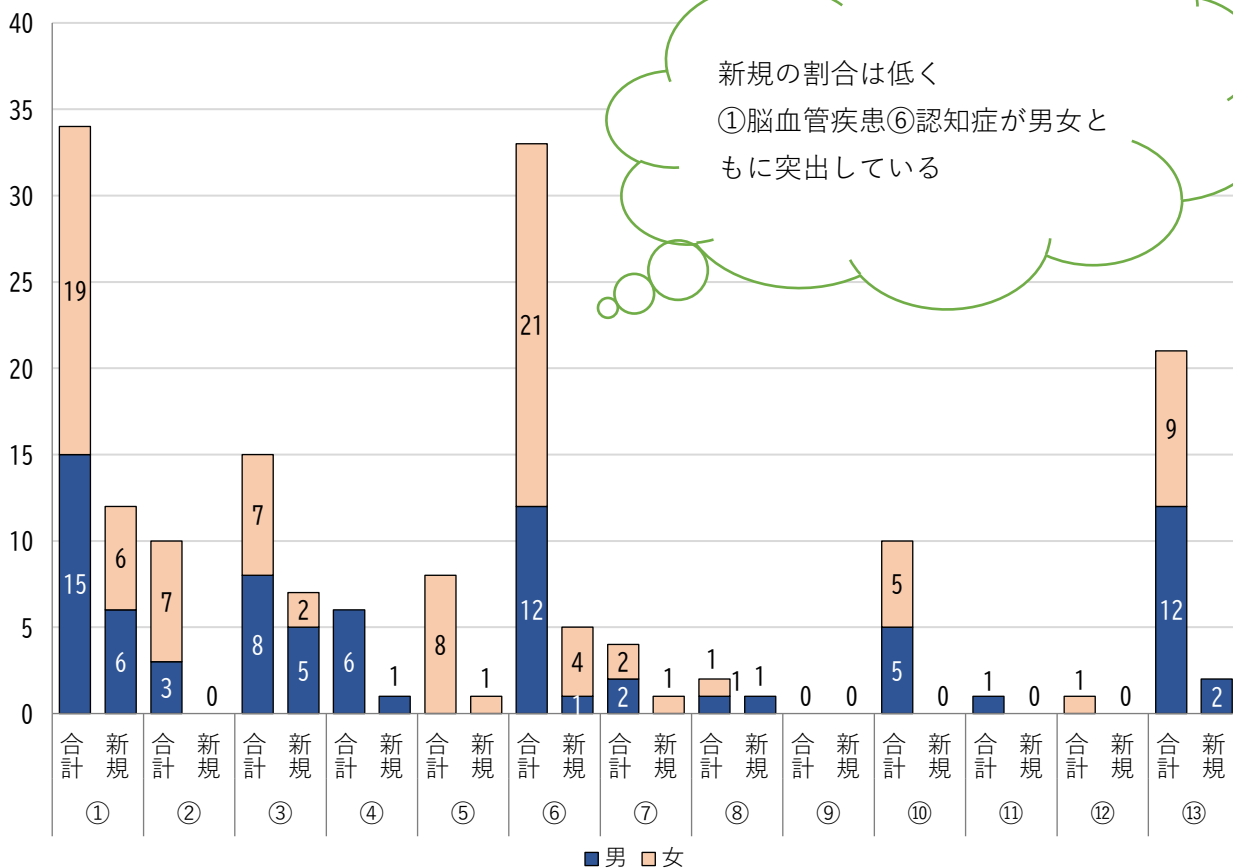


表10 前回と今回の認定結果の比較（人）

今回認定 前回認定	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	変更数
前回認定なし	27	207	123	102	44	47	39	30	619	-
自立	0	17	6	3	4	0	0	4	34	34
要支援1	7	204	89	71	18	13	15	6	423	219
要支援2	0	47	137	78	38	19	16	5	340	203
要介護1	0	17	40	212	86	47	40	18	460	248
要介護2	1	12	12	22	67	54	41	19	228	161
要介護3	0	4	2	5	11	40	30	25	117	77
要介護4	0	1	1	7	6	14	48	20	97	77
要介護5	0	0	2	2	3	2	11	18	38	20
合計	35	509	412	502	277	236	240	145	2,356	1,039

現状維持	726人 30.8%	悪化	782人 33.2%	改善	229人 9.7%	新規 (前回認定なし)	619人 26.3%
------	---------------	----	---------------	----	--------------	----------------	---------------

- ・冬の季節…ほかの時期に比べ悪化が多い
- ・春の季節…悪化が一番少ない
- ・夏の季節…現状維持が少なく悪化が多い
- ・秋の季節…現状維持、悪化ともに多い

	現状維持	悪化	改善
1～3月	190	213	54
4～6月	168	172	51
7～9月	154	188	61
10～12月	214	209	63
計	726	782	229

表11 前回と今回の認定結果の比較（率）

今回認定 前回認定	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	変更率	合計
自立	0.0%	50.0%	17.6%	8.8%	11.8%	0.0%	0.0%	11.8%	100.0%	100.0%
要支援1	1.7%	48.2%	21.0%	16.8%	4.3%	3.1%	3.5%	1.4%	51.8%	100.0%
要支援2	0.0%	13.8%	40.3%	22.9%	11.2%	5.6%	4.7%	1.5%	59.7%	100.0%
要介護1	0.0%	3.7%	8.7%	46.1%	18.7%	10.2%	8.7%	3.9%	53.9%	100.0%
要介護2	0.4%	5.3%	5.3%	9.6%	29.4%	23.7%	18.0%	8.3%	70.6%	100.0%
要介護3	0.0%	3.4%	1.7%	4.3%	9.4%	34.2%	25.6%	21.4%	65.8%	100.0%
要介護4	0.0%	1.0%	1.0%	7.2%	6.2%	14.4%	49.5%	20.6%	79.4%	100.0%
要介護5	0.0%	0.0%	5.3%	5.3%	7.9%	5.3%	28.9%	47.4%	52.6%	100.0%

※認定審査件数2,356人のうち、新規（前回認定なし）619人を除く1,737人で算出

図11 認定結果比較グラフ

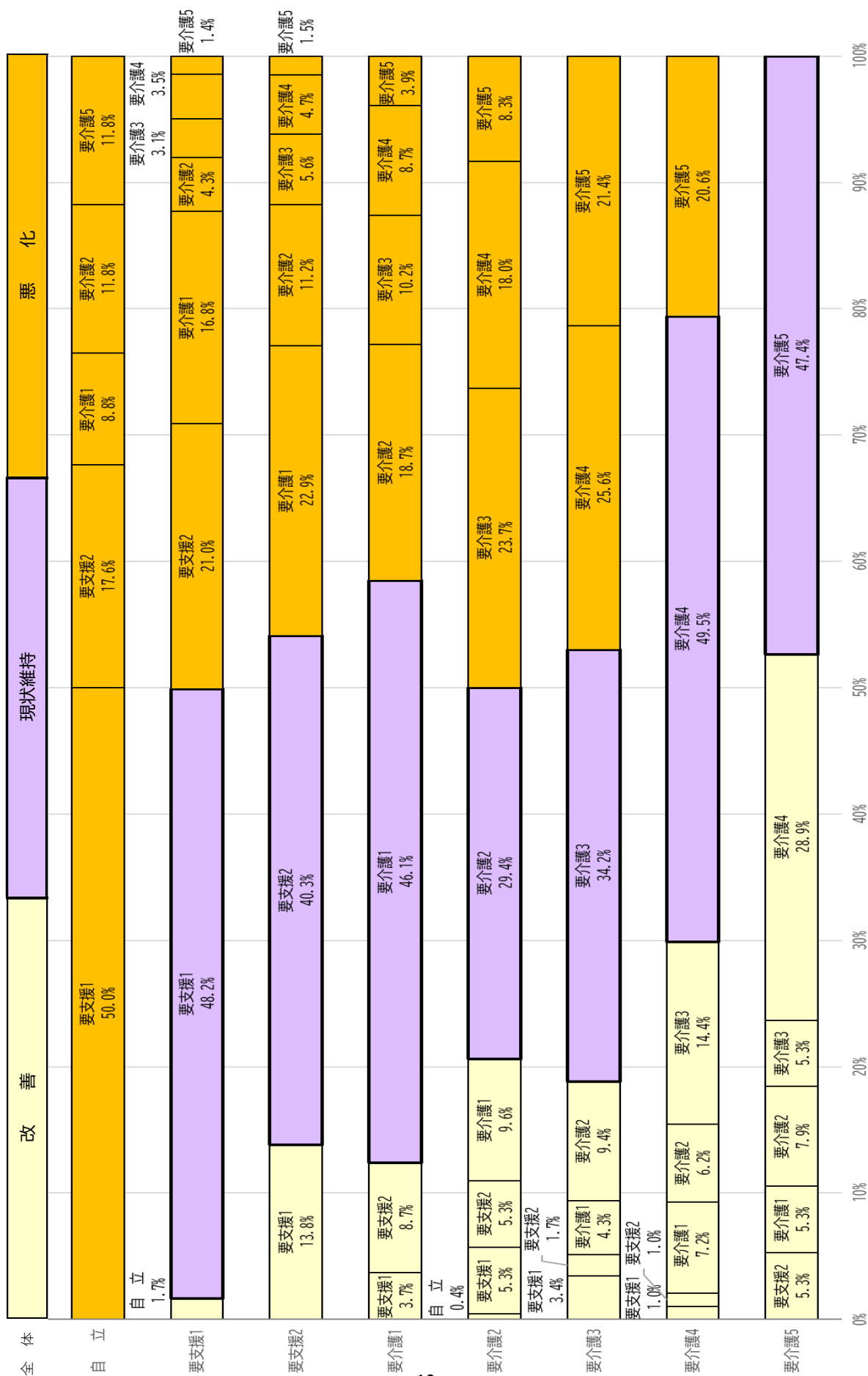


表12 疾病と季節の関連（男女別）

男性

(4月・5月・6月)

	疾病	人数	割合
1位	⑥認知症	47	20.3%
2位	①脳血管疾患（脳卒中）	46	19.8%
3位	⑩骨折・転倒	30	12.9%

※割合の分母は、各季節の疾病人数(男性)の合計

(7月・8月・9月)

	疾病	人数	割合
1位	⑥認知症	50	22.6%
2位	①脳血管疾患（脳卒中）	41	18.6%
3位	⑬その他	26	11.8%

3位 その他
 ①うつ・慢性腎不全
 ③その他の精神疾患

(10月・11月・12月)

	疾病	人数	割合
1位	①脳血管疾患（脳卒中）	53	23.3%
2位	⑬その他	51	22.5%
3位	②心疾患（心臓病）（循環器）	25	11.0%
3位	⑥認知症	25	11.0%

2位 その他
 ①廃用性症候群・慢性腎不全

(1月・2月・3月)

	疾病	人数	割合
1位	①脳血管疾患（脳卒中）	60	23.5%
2位	⑥認知症	58	22.7%
3位	②心疾患（心臓病）（循環器）	22	8.6%

女性

(4月・5月・6月)

	疾病	人数	割合
1位	⑥認知症	77	24.0%
2位	②心疾患（心臓病）（循環器）	50	15.6%
3位	①脳血管疾患（脳卒中）	46	14.3%

※割合の分母は、各季節の疾病人数(女性)の合計

(7月・8月・9月)

	疾病	人数	割合
1位	⑥認知症	86	27.6%
2位	②心疾患（心臓病）（循環器）	44	14.1%
2位	⑬その他	44	14.1%

2位 その他
 ①骨粗しょう症 ②うつ
 ③その他の精神疾患・脂質異常症

(10月・11月・12月)

	疾病	人数	割合
1位	⑥認知症	80	19.3%
2位	⑬その他	73	17.6%
3位	⑩骨折・転倒	60	14.5%

2位 その他
 ①骨粗しょう症
 ②脱水症・廃用性症候群

(1月・2月・3月)

	疾病	人数	割合
1位	⑥認知症	89	23.8%
2位	⑩骨折・転倒	63	16.8%
3位	②心疾患（心臓病）（循環器）	47	12.6%

全体

(4月・5月・6月)

	疾病	人数	割合
1位	⑥認知症	124	22.4%
2位	①脳血管疾患（脳卒中）	92	16.6%
3位	②心疾患（心臓病）（循環器）	77	13.9%

※割合の分母は、各季節の疾病人数の合計

(7月・8月・9月)

	疾病	人数	割合
1位	⑥認知症	136	25.5%
2位	⑬その他	70	13.1%
3位	①脳血管疾患（脳卒中）	68	12.8%

2位 その他
 ①うつ ②その他の精神疾患・骨粗しょう症
 ③脂質異常症・廃用性症候群

(10月・11月・12月)

	疾病	人数	割合
1位	⑬その他	124	19.3%
2位	⑥認知症	105	16.4%
3位	①脳血管疾患（脳卒中）	98	15.3%

1位 その他
 ①骨粗しょう症 ②慢性腎不全・廃用性症候群
 ③脱水症・腎盂炎・慢性腎臓病

(1月・2月・3月)

	疾病	人数	割合
1位	⑥認知症	147	23.4%
2位	①脳血管疾患（脳卒中）	105	16.7%
3位	⑩骨折・転倒	78	12.4%

【分析】

- ・軽度者について「現状維持」「悪化」の割合は高く「改善」の割合は低い。
- ・季節ごとの分析から、冬場に悪化する傾向が判明。新型コロナウイルスの流行「第3波」のストレス等で、食べ過ぎや飲みすぎが習慣化し、運動不足に陥ってしまった人も少なくなく、生活習慣病が発症の原因となる「脳血管疾患」や、家に籠る生活により「関節疾患」や「認知症」が悪化してしまったケースがあると考えられる。
- また「脳血管疾患」は、冬場は屋内と屋外で寒暖の差が激しくなるという点で、脳卒中などが発症したとも考えられる。
- ・春の時期になると悪化が軽減されているのは、気温が暖かくなり体を動かす機会が増え、心身共に状態が維持されたケースが考えられる。

【考察】

- ・軽度者が悪化しやすい傾向にあるため、早い段階で介護予防を進めていく必要がある。（外出機会の創出等）
- ・現状維持についても、軽度者への施策を重点的に実施することで、状態の維持、ひいては健康寿命を延ばし、改善にも繋がる。
- ・総合的に、軽度者への施策は、暖かい季節（春）のうちから体を動かす等の施策を実施すれば、心身の状態を保つことができ、「関節疾患」や「骨折・転倒」の改善が期待される。

【方向性】

1年間（令和3年1月～12月）の分析結果から、季節ごとの原因疾病の傾向は若干相違あるものの、軽度者の「脳血管疾患」「関節疾患」「認知症」「転倒・骨折」が主な要介護状態になる原因疾病であることが判明した。

このため、「関節疾患」「転倒・骨折」については予防の取組みとしてリハビリ専門職と連携をとりながら事業を展開する。

また、「脳血管疾患」は若いうちから生活習慣病予防、「認知症」については生活習慣病予防と併せ、軽度認知障害（MCI）の段階から早期発見・早期治療ができるよう、今後も医療・介護・健康分野との連携をを図りながら事業を進めていく。